

第3章 品詞論

助詞

1

<助詞の種類>

- ① : 名詞につき、**名詞と述語の関係**を表す
- ② : 色々な語に付いて**様々な意味を副える**
- ③ : 主に用言、助動詞につき、**前後をつなぐ**
- ④ : 主に**文の終わり**につき、疑問、禁止、感動などを表す

3

格助詞

※資料プリント参照

6

<格助詞の特徴>

- ・ 主に を示す
- ・ 覚え方
から へ や で と の が を に より

※教科書では、「や」「の」は接続助詞に分類、
「まで」「(「から」とセットの「まで」)が格助詞に含まれている

7

1

「が」が出てきたら・・・

1.

例) 花が咲いた。 弟が女の子からチョコをもらった。

赤坂に学校がある。

2.

例) この本がほしい。 弟はスノーボードができる。

映画が好きだ。

8

「を」が出てきたら・・・

1.

例) コーヒーを飲む。

2.

例) 橋を渡る。公園を散歩する。

3.

例) うちを出る

9

「で」が出てきたら・・・

1.

例) 学校で勉強する。

2.

例) 電車で通学する。はして食べる。

3.

例) この家は杉でできている。

4.

例) 台風で電車が止まった。

5.

例) 22時で閉店です。

30名で締め切ります。

10

6.

例) 「ありがとう」は英語で “Thank you” です。

7.

例) ひとりで勉強する。

1年間でかなり日本語が上達した。

8.

例) 子どもがはだして走っている。

9.

例) 世界で一番高い山はエベレストだ。

10.

例) クラスで遠足に行った。

この仕事は自分でやります。

11

2

「の」が出てきたら・・・

1. (資料 ②主語)
2. (資料 ①連体修飾語)
3. (資料 ④体言化)

13

1. 「が」に置き換えられる「の」 (資料 ②主語)

例) 私の描いた絵が表彰されました。

トムの作った料理はいつもおいしいです。

⇒

※名詞修飾節とは、

(節とは、)

14

2. 名詞+「の」+名詞 (資料 ①連体修飾語)

例) 私の本 ()

北海道の冬、白のシャツ ()

友達のトム ()

※格助詞ではなく、「 (橋本文法)、
「 」に分類する学者もいる

※教科書では「接続助詞」に分類されている

17

3. 名詞の代わりの「の」 (資料 ④体言化)

例) その傘は、私のです。

食べるのが遅い。⇒

※「 (橋本文法)とも

※みん日Ⅱ 第38課 「星を 見るのが好きです。」

18

3

「と」が出てきたら・・・

1.
 - ・ 例) ～と結婚する／～と試合をする／～と話す
 - ・ (に置き換え可)
 - ・ 例) ミラーさんと旅行に行く。
 - ・ 例) 先生が、あしたはテストだと言っていました。
2.
 - ・ 例) コーヒーと紅茶、どっちがいい？

21

過去問 第3章 該当問題

22

22

<過去問参照>

日本語教育能力検定試験 平成29年度 試験Ⅲ 問題Iより抜粋

問題1 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

格助詞は、形と意味の対応関係が様々であるところに習得の難しさがある。例えば、同じ〈相手〉であっても、「伝える」は伝える相手を二格で表し、「呼ぶ」は呼ぶ相手をヲ格で表す。このように、どの格助詞をとるかは動詞によって決まっている。

学習段階が進むと、文の構造や文体に合わせて、格助詞を変化させる必要がある。その一つに、「カナダから帰国する→カナダからの帰国」のように動詞句を名詞化する場合がある。これには名詞化の一般的な規則に当てはまらない格助詞があるので、注意が必要である。また、名詞節の中には格助詞の用法を持つ「の」が現れるなど特有の現象も見られる。他にも、「衆議院で予算案が可決された」のような文体では、「で」が「において」に置き換えられるように、文体に応じて格助詞を複合格助詞に置き換える場合がある。

さらに、学習者には「明日に、東京に行きます」のような時の表現に関する誤用が見られる。このような誤用の指導には語彙に関する知識も求められる。

23

日本語教育能力検定試験 平成29年度 試験Ⅲ 問題Iより抜粋

問1 文章中の下線部Aに起因する誤用の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 駅から走ってきたので汗を出した。
- 2 太郎が急いで花子に行きました。
- 3 言いたいことは三つがあります。
- 4 花子が車の騒音を困っています。

24

4

日本語教育能力検定試験 平成29年度 試験Ⅲ 問題Iより抜粋

問2 文章中の下線部B「名詞化の一般的な規則に当てはまらない格助詞」として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 〈共同動作〉を表す「と」
- 2 〈原因〉を表す「で」
- 3 〈着点〉を表す「に」
- 4 〈終点〉を表す「まで」

26

日本語教育能力検定試験 平成29年度 試験Ⅲ 問題Iより抜粋

問3 文章中の下線部C「格助詞の用法を持つ『の』」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 そこにある青いのをください。
- 2 花子の通っていた小学校はここです。
- 3 昨日着ていた服はどこで買ったのですか。
- 4 太郎は鉄道で旅行するのが大好きです。

29

似た意味を持つ格助詞

37

● 起点を表す「を」、「から」

2つの文の違いは？

・家を出た

・家から出た



38

5

●場所を表す「に」、「で」



「に」 +

(いる、ある、住む、泊まる、滞在する、勤める等)

「で」 +

(食べる、勉強する、働く、遊ぶ、話す等)

39

●方向、帰着点を表す「に」、「へ」



・意味の差はあまり感じない

・「に」は、

例) 今、駅に着きました。

1階に集まってください。

早く教室に入って。

※ 買い物に行きます。⇒

の「に」

彼に話しかけた。⇒

の「に」

40

●対象の出どころを表す「に」、「から」

例) 友達に／から手紙をもらった。

友達に／から聞いたんだけど...

先生に／から教わる (受け手側からの表現)

みんなに／から愛されている。(受身文)

⇒

41

●動作の対象を表す「を」、「に」

「話しかける、見る、似る、助ける、もたれる」

⇒「を」と「に」どっちを使う? どんな違いがある?

「を」:

(見る、助ける)

「に」:

(話しかける、もたれる、似る)

42

6

<複合格助詞> ※資料プリント参照

名詞と述語との関係を示す、**複合的な形式のもの**

★複合格助詞の形式

- ・格助詞+動詞のて形(連用形) 例) について、にかけて
- ・と(格助詞)+名詞+格助詞 例) とともに、と一緒に
- ・の(格助詞)+名詞+格助詞 例) のために、のせいで

43

副助詞

※資料プリント参照

45

<副助詞の特徴>

- ・色々な語に付いて **などの意味を副える**
- ※主題の「は」以外

覚え方

は、**まで**、でも、だけ、か、なり、くらい、ほど、きり、ばかり、
しか、など、も、さえ、
+ こそ、やら、だって、とか、ずつ・・・

46

※教科書 第3版 P53

- ・主題の「は、なら、って、ったら」・・・「**提題助詞**」
- ・「限定、強調、対比」などの意味を含む助詞
・・・「**取り立て助詞**」

この授業では、「**提題助詞**」と「**取り立て助詞**」をひっくるめて「**副助詞**」とします。

47

「まで」が出てきたら・・・

- ① 例) 家まで | 時間かかる。
- ② 例) 子どもにまで笑われた。

※学校文法では意味の違いに関わらず、「まで」は副助詞に分類
一方、教科書や時枝文法では、上記①の「まで」は格助詞、
②の「まで」は副助詞としている

49

「でも」が出てきたら・・・

助動詞、接続助詞との区別に注意

- ①小学生でもわかることだ。⇒
- ②何回読んでも理解できない。⇒
- ③彼は同僚であり、小学校の同級生でもある。

⇒ +
(だけでも意味が通じる)

50

「も」が出てきたら・・・

- ①
- 例) 魚も肉も好きだ。
- ②
- 例) 5人ぐらいだろうと思っていたら、20人も来た。

52

並列（並立）助詞

53

並列(並立)助詞**格助詞:**

例) 本とノートを買った。
 右に左に大忙しだ。

副助詞:

例) 煮るなり焼くなり好きにしろ。

54

格助詞と副助詞の違い

57

①アールーだけ食べる。

アールー が / を / で 食べる。

⇒格助詞は、

⇒副助詞は、



58

②トム「が」アンナを愛している。

トム アンナを愛している。

トム アンナを愛している。

トム アンナを愛している。

⇒副助詞は、



59

9

<格助詞と副助詞に関わる、言語学の用語>

● (syntagmatic relation)

文の中での

例) トムが アンナを 愛している。

● (paragrammatic relation)

例) トム まで アンナを 愛している。
さえ
だけ

60

「は」と「が」

62

① 桜は きれいです。

⇒

② 桜が きれいです。

⇒



64

主題の「は」

主格の「が」

<その他の用法>

<その他の用法>

65

10

<「が」を使うケース>

- ① を表す場合
 「が」＋ 好き・嫌い・上手・下手・得意・苦手・速い・遅い
 ほしい、わかる、可能の動詞
- ② 例) 私が作った料理は、これです。
 友達が描いた絵を部屋に飾った。

66

- ③ 従属節の主語が 場合、
 従属節の主語を

例) 息子が熱を出したので、(わたしは)会社を休みました。

友達が来る前に、(わたしは)ビールを買っておこう。

※ミラーさんは日本に来る前、(ミラーさんは)自分で日本語を勉強していた。

67

- ④ 例) 何が好きですか？
 誰が描いたんですか？
- ※ただし
 例) あの人は だれですか。
 これは 何ですか。

68



接続助詞

69

11

<接続助詞の特徴>

- ・ 付属語で活用がない
- ・
- ・ 前後をつなぐ働きがある

<接続助詞の種類>

- ・ 同時（付帯状況）
- ・ 仮定の順接
- ・ 仮定の逆接
- ・ 確定の順接
- ・ 確定の逆接
- ・ 並立・対比

70

<接続詞と接続助詞>

- 接続詞
 - ・ で活用がない
 - ・ 接続語になる
 例) 自信が / なかった。だから、 / 努力した。
よく / 考えた。でも、 / 答えが / 出ない。
- 接続助詞
 - ・ で活用がない
 - ・ 接続語になる
 例) 寒いから / 外に / 出たくない。
考えても、 / 答えが / 出ない。

71

「ながら」が出てきたら・・・

意味の違い、副助詞との区別に注意

・ 接続助詞

「 」 例) 音楽を聞きながら歩く。

「 」 例) 答えを分かっているながら、間違えてしまった。
子どもながら、しっかりしている。(名詞にもつく)

・ 副助詞

例) 生まれながらの美貌、昔ながらの街並み

⇒ の意味

73

「て」が出てきたら・・・

1. ⇒ に置き換えられる
(前件の出来事が続いた状態で、後件の出来事が起きる)

例) 傘をさして学校へ行く。

2.

※

例) 朝ごはんを食べて、学校へ行く。

74

12

3.

例) この部屋は広くてきれいだ。

ミラーさんは明るくて優しい。

4. (のに、ても、が、けれど等)

例) 本当のことを知っていて、教えてくれなかった。

困っている人がいたが、急いでいたので見て見ぬふりをした。

75

5.

※後件に制限あり

後件が ⇒

例) 頭が痛くて、学校を **休む**。 ?

頭が痛くて、学校を 休んだ。○

後件が ⇒

例) この道は 広くて、運転**しやすい**。

この道は 広くて、運転**しやすかった**。

76

「から」と「ので」の違い

・「ので」のほうが、丁寧な印象を与える

・ ×「ので」 ○「から」 +

例) 家で勉強しないのは、集中できないから

・ (推量) + ○「から」 ×「ので」

例) 雨が 傘を持って行った方がいいよ。



79

終助詞

84

13

<終助詞の特徴>

- ・主に **文の最後** に付いて、 **を表す**
- ・「**ね、さ、よ**」は、文中（文節の切れ目）で使われるので、
とも呼ばれる。

85

<終助詞の主な用法>

- ・「**よ**」: ① 例) あしたは休みだよ。
② 聞き手が
例) この電車は、急行ですよ。
- ・「**ね**」: ① 聞き手への 例) 北野さんですね。
② 聞き手への 例) 今度、行きたいね。
- ・ ⇒
例) どうしたんですか。
どうして急に会社を辞めたんですか。

86